

6月議会報告



がれきの広域処理で、岩手県大槌町を視察 (6月5日)

市長ががれき本格受け入れを表明

市民合意を把握しないまま

がれき受け入れは市民の理解と合意のもとで

田辺市長は6月22日、大槌町のがれき焼却灰の放射能濃度の安全性が確認された、として本格受け入れを表明しました。

日本共産党市議団は、6月はじめに大槌町を視察し、静岡市にはこぶ予定のがれきの放射線量・濃度を自ら測定し、静岡市内と同じ程度の低い数値であることを確認してきました。

そして6月末の本会議や委員会(中面参照)で、市民の不安や懸念があるも、市民の理解と合意を得るために、各区各地で説明会を開き政府からも出向かせて市民の質疑をするなど、丁寧に説明をすべきだと、提案しました。

しかし、市長は7月に予定される市民アンケートやパブコメなどで市民の意向結果が出る前に、本格受け入れを表明したことは拙速です。党市議団は、視察内容の説明をふくめた議会報告会を開く予定です。

所属委員会報告

総務委員会

津波避難ビルの指定が111箇所まで広がっています。外付け階段、屋上のフェンス・デッキのない民間ビルに設置を助成する予算が提案されました。

昨年度、特別委員会でも市長に提言した内容が早速実現。避難ビルの指定を増やすきっかけとなります。

生活文化環境委員会

委員会では、静岡市が進めている震災がれきの処理についての市の対応について議論になりました。静岡市は、岩手県大槌町と山田町の震災がれきの本格受け入れに向け試験焼却と、市民説明会を準備しています。しかし、十分な説明と市民合意については明確にしていない為、市民合意を得るよう指摘しました。

厚生委員会

マニフェストで民主党政権が国民に約束した「子ども手当」は、いくつもの改悪が重ねられてきました。そのたびに市は、支給のためのコンピューターシステムを改修、これまで6,400万円余が費やされてきました。今回新たに改修費用1,600万円余が追加計上されました。一貫性のない子ども手当の成り行きに批判が高まっていますが、そのたびに税金のムダ遣いがされるのでは国民は踏んだり蹴ったりです。

上下水教育委員会

特別支援学級のよりよい教育環境を求める5,000人余の陳情が採択

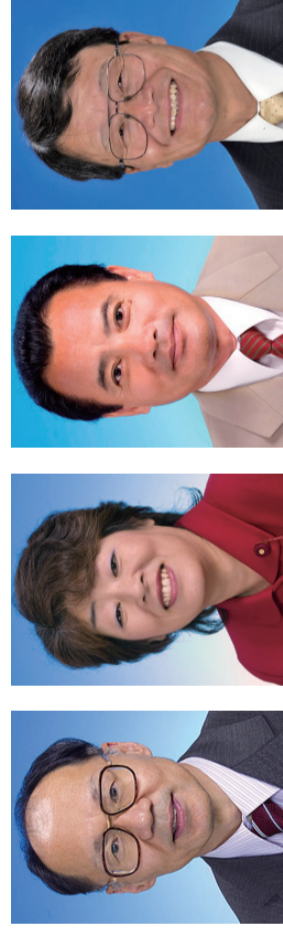
山本明久委員は、陳情の採択に賛成するとともに、一人ひとりの子どもを大事にし発達を保障するために、教育費の増額と特別支援教育課の設置を求めました。



2つの意見書案 党議員団が提案 与党が否決！国民の怒りとかい離

| 発議 | 意見書に対する賛否 | | | | 賛成 | | 反対 | |
|-----------------|-----------|----|-----------|-----------|----|-----|------|--|
| | 共産党 | 自民 | 新国会 (賛否別) | 新友会 (賛否別) | 公明 | 虹と緑 | 市民自治 | |
| 消費税増税法案等に関する意見書 | ○提案 | × | × | × | × | ○ | ○ | |
| 大飯原発再稼働に関する意見書 | ○提案 | × | × | × | × | ○ | ○ | |

しずおか市政新報



山本明久議員 葉区
 鈴木せつ子議員 葉区
 内田りゅうすけ議員 清水区
 寺尾 昭議員 駿河区

いのち・くらしを守る市政へ

日本共産党静岡市議団

TEL 054-254-2111 (4541)
 FAX 054-272-4695
<http://www.jcpss.jp>

第53号 2012年7月22日発行

市民の要求実現へ力をあわせて



借地借家人組合が固定資産税の情報開示について市と交渉 5月31日



2年連続国保料を引き下げた福岡市の国保行政視察の報告会 6月8日



国保料の減免申請 生活と健康を守る会主催 6月21日



国保料引き下げなど求め、医療と福祉をよくする会が市と交渉 7月2日

「はなれ墓地」陳情に賛成

継続審議となっていた「東光寺はなれ墓地に関する陳情」は、はなれ墓地が住環境に影響を与えないことと、近隣住民が墓地の許可をしないよう求めていたものです。共産党は、住民の皆さんが地域で平穏な生活が確保できるように、お寺とも十分な話し合いを持つなど、行政がしっかり指導性を発揮すべきという趣旨から陳情に賛成の立場をとりましたが、賛成少数で「不採択」となりました。

日本共産党静岡市議団 本会議総括質問

防災対策、生活保護、国保、がれき処理など 安心安全もとめ論戦

災害廃棄物の処理について

静岡市が進めている試験焼却について現状と十分な市民説明・合意を得るよう市の考えを質しました。担当局長は、静岡市民会館、清水テルサ等で市民説明会を開催すると答えましたが、市民合意については答えませんでした。



屋上にフェンスのない避難ビル（特別委員会視察）

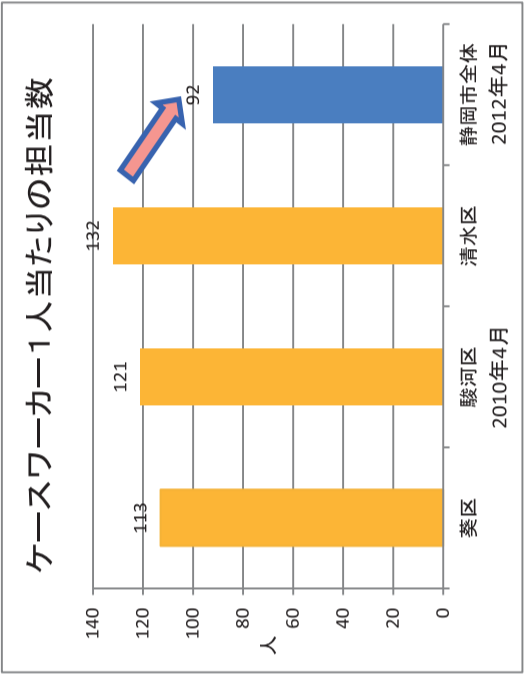
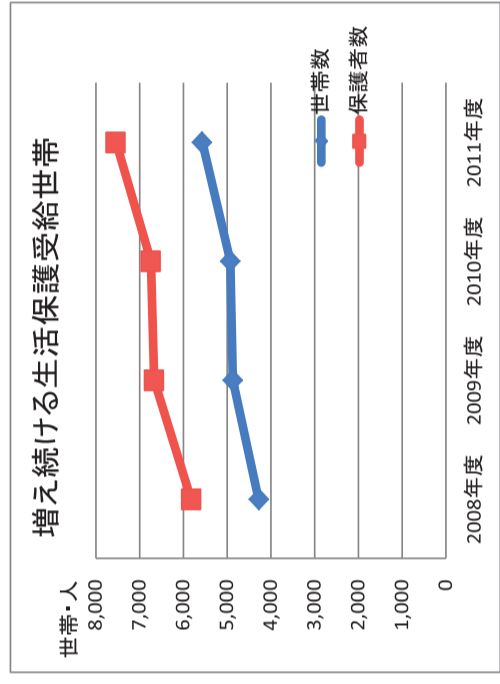
| 津波避難ビルに外階段、フェンスなど設置助成が実現 | |
|--------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 助成要件 | 津波避難ビルとして指定 安政東海地震推定浸水域内 近隣住民から使用要望あり 避難場所面積50㎡以上 災害時拠点として市と協定締結 ビルの高さが想定浸水域を考慮してある など |

地震津波対策について



地震津波問題で静岡市の対応を質しました。最初に、今後の津波避難施設整備計画と基本的考え方について質問。担当局長は、5分300mで逃げられる範囲の中で、避難ビルが不足している地区に対して、整備を進めて行く。

この間の検討で、17地区が避難困難地区として洗い出され、それらの地区の人口や、地域特性を考慮し、津波避難施設の整備計画を作成しているところ。24年度設置個所については、この整備計画に基づき、緊急性など優先順位を踏まえ、9月末を目途に確定していきたいと答えました。



生活保護 指導・援助体制のいっそう強化を



生活保護利用者増加が財政を圧迫しており、その中で不正受給が増えているとマスコミでも騒がれています。静岡市でも11年度で1億1千万円余（全支給額の0.9%）あったとの報告がありました。内容は、年金支給があったが届け出を忘れたなどうっかりミスといわれるものが多いということです。保護費を食いものにする貧困ビジネスなど悪質なものには厳正に対処することは当然ですが、貧困と格差拡大のもと、必要な人にしっかりと行きわたっていない（捕捉率32%）ことが大きな課題です。

静岡市は、年数を限定の短時間勤務のケースワーカー職員を今年度10人採用しました。年度当初でワーカー1人当たりの担当が92世帯となっています。基準の80世帯をすでに上回り、さらに増え続けることが予想されます。受給者への日常活動の援助、自立へ向けての様々な援助など、きめ細やかな態勢整備が必要であることを強調しました。

国保料大幅値上げ 国と自治体の責任で負担軽減を



今年度の国保料は総額20億円、3割もの値上げで、「なぜこんなに高いのか、納得できない」という抗議が殺到しています。

鈴木せつ子議員は質問で、今回の値上げが政令市中4番目の高額となり、住民税非課税世帯は35800世帯、加入世帯の3割を占めることを浮き彫りにしました。

現国保法は、国保は「社会保障」として位置づけています。「相互扶

助」論による受益者負担、保険料高騰は、国保を進化させてきた歴史に逆行する行為です。その認識を質しましたが、市は相互扶助だと思考停止状態です。

低所得世帯が大半を占める国保は、国、自治体の適切な支援が無ければ成り立たない制度です。一般会計からの繰り入れの正当なルールをつくり、安定した繰り入れで市民負担を軽減し、国保料減免は恒常的低所得世帯も対象とするよう迫りました。



福岡市の国保行政を学ぶ

国保算定のしくみ

加入世帯に上乗せがこんなに…
低所得世帯に負担がズッシリ重く

- ・ 収納率86.2%を割り返し、余分に25億円を上乗せ
- ・ 賦課限度額（77万円）を超過した分は徴集されないため、加入世帯に広く上乗せ24億円

国保料引き下げは市民の切実な願いです。引き続き運動を強めます。

がれきの広域処理 政府が責任ある対策とり、市も市民合意の努力を



党市議団が大榎町で静岡市へはこぶ直前のがれきの放射線量を、3種類の機器で測定すると、毎時0.06〜0.09マイクロシーベルトでした（年間許容ラインの1ミリシーベルトの半分程度）。静岡市旧庁舎の玄関で測定した0.05〜0.10と同じ程度です。焼却灰の濃度でも通常ごみと同じ程度です（表）。

しかし、がれきについては、放射線への不安や懸念が広く市民のなかにあり、がれきを受け入れる場合、市民の理解と合意を広げることが必要です。

不安の背景には、政府が原発事故の原因もまともに説明せず、がれきの広域処理において放射能対策をまともにとらないことがあります。

そうしたもとで、市民の合意形成、焼却灰の最終処分、被災地での早期処理（写真参照）での政府の責任を果させ、静岡市も市民の理解と合意を広げる努力が求められます。



がれきを埋め盛土して常緑樹を植える「森の防波堤」の実験、（大榎町）

| | 空間の放射線量 (マイクロシーベルト/毎時) |
|----------|---------------------------|
| 静岡市の庁舎玄関 | 0.09 ~ 0.10 |
| 大榎町のがれき上 | 0.06 ~ 0.09 |

| | 焼却・溶融灰の放射能濃度 (市の測定 ベクレル/kg) |
|----------|--------------------------------|
| 静岡市の通常ごみ | 115 ~ 442 (3.11後) |
| 大榎町のがれき | 165 ~ 230 |